

『生徒と地域の大人の対話会』

今年度は、置賜地区青少年育成連絡協議会事業の「生徒と地域の大人との対話会」と、白鷹町次世代未来ビジョン会議を兼ねた対話会を12月21日（日）白鷹町中央公民館大会議室で開催しました。白鷹町の次世代を担う若者が大人を交えた対話を通して交流を深めることで、「町の課題や未来」を見つめ直し、明るく住みよい町づくりに積極的に参画する契機とすることを目的に、置賜地区・白鷹町が主催しているものです。休日にも関わらず3年次19名参加してくれました。探究学習発表として磯村穂果さん「伝統・文化を効果的に繋げていく方法」、横沢さくらさん「観光名所として白鷹町の古典ザクラを広めるためには」、南波煌稀さん「地方における業種や企業数と若者流出の関係性」3名が代表してそれぞれ発表しました。その後、交流テーマ「若者の学びを地域づくりにつなげよう」でA～Fの6グループに分かれて語り合われました。総合的な探究の時間で取り組んだことを足がかりに、さまざまなご意見や励ましの言葉をいただき、社会人として、高校時代に学んだことを地域の発展に生かしていきたいと気持ちを新たにした3年次生でした。



2年次探究課題発表会

1月22日（木）総合的な探究の時間を中心に取り組んできた探究課題についての発表会がありました。各自の興味・関心の中から、「健康・福祉」「食・農う」「地域行政・観光」「環境・住まい」「教育・情報」「伝統・文化」の分野に分かれて、2年次はグループで探究活動を続けてきました。グループで協議し、多様な意見を交わし、お互いの学習内容を共有し合うことによって、新たな視点や考えを見出します。その中で、白鷹町だけで約30の獅子があり、赤獅子が多く、踊りや伴奏がそれぞれの地区で違うことがわかりました。3年次は、個人研究になります。

【7つのタイトル】
ダイエット痩せるために
/食の宝庫白鷹町を広
めよう/白鷹町の宝鮎
を使ったニューレシピを
作ろう/空き家をリノベ
ーションしよう/Z世代
との関わり方/白鷹町に
ある獅子の違いについ
て/注目を引くポスター
の作り方

